

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学  
連 合 小 児 発 達 学 研 究 科 教 授 会 記 録

日 時	平成24年5月7日(月) 午後3時2分～午後3時45分	
場 所	各校講義室にて遠隔講義システムにより開催	
出 席 者	(大阪校) 片山研究科長、谷池副研究科長、井村教授、永井教授、中神教授 (金沢校) 大井副研究科長、浅野教授、柴教授、堀教授 (浜松校) 武井副研究科長、尾内教授、杉山教授 (千葉校) 中川副研究科長、中里教授 (福井校) 安倍副研究科長、大嶋教授、友田教授、村松教授	計18名
欠 席 者	(大阪校) 大藪教授、畑澤教授 (金沢校) 東田教授、三邊教授、棟居教授 (浜松校) 森教授 (千葉校) 清水教授 (福井校) 佐藤教授	計 8名 [合計26名]

議 事

- ◇ 議事に先立ち、新たに教授会構成員となった(千葉校)中里教授から挨拶があり、また、4月5日(木)開催の教授会記録の確認があった。

【協議事項】

1. 平成24年度招へい教員の受入れについて

谷池教授から、招へい教員1名の受入れについて、配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

また、招へい教授の称号の付与について、併せて承認した。

2. 入試担当教員の変更について

中川教授から、千葉校の入試担当者の変更について、配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 平成25年度募集要項について

研究科長から、4月26日(木)開催の入試担当者会議において、来年度入学試験にかかる募集要項、出願資格、問題作成及び実施体制等について検討した結果、出願資格を一部変更することが決定され、配付資料のとおり募集要項案を作成した旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

また、入試実施にあたって、試験問題作成者や試験監督員、面接試験員、事務担当者の選出、派遣等について、各校に協力依頼があった。

#### 4. 奨学寄附金の受入れについて

研究科長から、配付資料により説明があり、審議の結果、教育研究支援基金に係る奨学寄附金2件の受入れを了承した。

#### 【報告事項】

##### 1. 教員の医療兼業等について

研究科長から、平成24年4月受付分として、医療兼業2件の申請があり、大阪大学医学部医学科医療等兼業問題委員会において審議され、2件の兼業の申請を許可した旨報告があった。

##### 2. 機関誌「子どものこころと脳の発達」について

浜松校 鈴木准教授から、配付資料により、5大学化にあたり改めて本機関誌の経緯説明と協力依頼があった。

#### 【その他】

##### 1. 3年次（社会人）研究体制への対応について

安倍教授から、論文作成する3年次（社会人）は休職して研究に専念することが望ましいとしているが、優秀な社会人学生の確保から、また、大学院設置基準教育方法特例第14条の観点から、本研究科としてどのように対応すべきか統一見解が必要ではないかとの提案があり、意見交換の結果、研究科長から、博士に相応しい論文を作成するには、休職して研究指導を受けることを原則とするが、休職することが困難な場合は、従来どおり指導教員と学生で十分相談するなど、各校の運用で対応するよう依頼があった。

##### 2. データベース担当教員の選出について

研究科長から、「子どものこころの発達研究センター」による教育研究事業における総合データベースシステムの整備について、今後、データベース構築に際し、各校のデータを一元化するためには、各大学において様々な調整等が必要となることから、調整窓口となるデータベース担当教員について、各校から2名の選出依頼があった。

##### 3. NHKテレビ番組の出演について

研究科長から、5月18日（金）放送のNHKテレビ番組に浜松校の杉山教授が出演し、発達障害に関する研究が紹介される旨報告があった。

以上